

2026年5月29日(金)

第40回華鐘グループ  
春季セミナー  
(Webinarオンライン)

中国のIT・新技術などを実体験を  
通しながら超簡単に説明します。

見誤れない中国市場

EV・AI・ロボットの現在地

— 中国国内データを中心に、新質生産力の今を読み解く

The logo consists of three overlapping, curved, blue and purple lines that sweep from the bottom left towards the top right, creating a sense of motion and flow.

華鐘諮詢

華鐘コンサルタントグループ  
古林 将一

# 古林 将一 (こばやし しょういち)

株式会社華鐘コンサルティング 代表取締役社長

華鐘新領域コンサルタント管理有限公司 董事長

上海華鐘コンサルタントグループ 副董事長



## (経歴)

1994年日本大手損害保険会社に入社、大阪・名古屋・岐阜・東京で保険金支払いに関する業務などを経験後、本社能力開発部で社員教育や業務企画に従事。2012年に保険に関わる新事業開発のため中国上海に赴任し、上海汽車との業務提携を実現し現地子会社であるコンサルタント会社を設立。その後インドネシアのジャカルタ赴任を経た後退職、現在では日本のメディアでは報じられない中国現地でこそ得られる情報やハイテク関連の情報を中心に、最新情報を各種媒体やセミナーを通じて発信している。

株式会社華鐘コンサルティング  
華鐘新領域（上海）コンサルタント管理有限会社  
上海華鐘投資コンサルティング有限会社  
上海華鐘コンサルタントサービス有限会社  
上海華鐘国際貿易有限会社

# Today's Agenda



1. 中国の政策と新質生産力  
国家戦略の全体像、第15次五カ年計画との接続
2. 日中インフラ格差スナップショット  
充電・5G/5.5G・電力・データセンター・スマートシティ
3. 電動化と移動の未来  
—— 中国EV市場の現在地
4. 中国AIの全貌  
—— 基盤モデル・チップ・産業実装参入戦略とリスク
5. ヒューマノイドロボット  
—— 量産時代の到来
6. 総括  
—— フィジカルAIへの収束

※ 各章とも、新华网・人民日报・国家能源局・工信部・赛迪研究院・高工机器人产业研究所など中国国内の公的・準公的ソースを中心に構成しています。



# 中国の政策と新質生産力

国家戦略の全体像、第15次五カ年計画との接続

# 中国の次なる成長エンジンの全体像

- 2023年9月に黒龍江省で提唱、2024年3月政府工作報告で「主要任務」に格上げ、3年で五カ年計画中核に
- 「労働者・労働手段・労働対象」三要素をアップグレードし組み合わせ刷新、全要素生産性を大幅向上させる戦略
- 三大特徴「高科技・高効能・高質量」 — ハイテク主導・高効率・高付加価値で量から質への転換を実現
- EV・AI・ヒューマノイドロボットの3分野すべてが新質生産力の中核に位置づけられた国家戦略直結産業

## 新質生産力（新質生産力）

科学技術イノベーションが主導する、質的飛躍を伴う先進的生産力

▼ 三要素のアップグレードと組み合わせ刷新

### 労働者

高素質な科学技術人材

研究者・エンジニア・技能人材の質的向上

### 労働手段

先端設備・AI・ロボット

スマート製造設備・自動化システム

### 労働対象

新素材・データ・エネルギー

新たな生産要素の広範化

全要素生産性の大幅向上

### 高科技

ハイテク主導の成長

### 高効能

高効率／単位投入あたり産出最大化

### 高質量

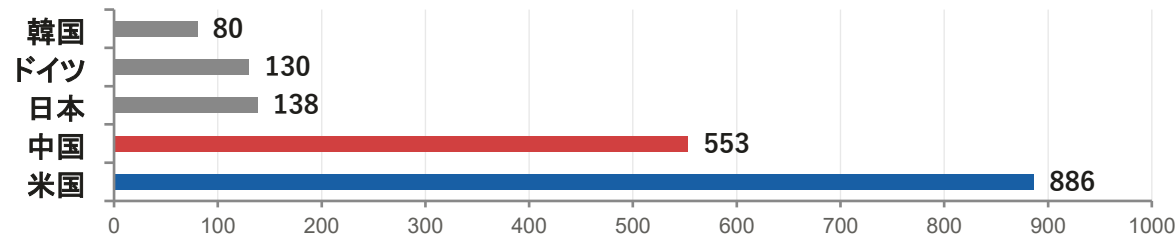
高品質／付加価値の質的向上

出典：新华网／人民日报／2024年国务院政府工作报告／中国共产党中央委员会

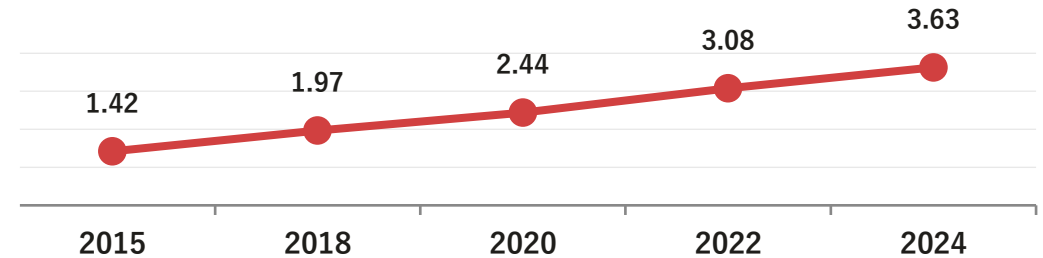
# 国家投資と市場規模

- 中国R&D投入は2024年3.6兆元・GDP比2.68%で米国に次ぐ世界2位、日本の研究開発費の約3.7倍規模
- 新質生産力の戦略的新興産業はGDP比17%(2025目標)、関連企業200万社超で産業基盤が厚い構造
- GDP比17%は「戦略的新興産業の出荷額」、GDP比2.68%は「R&D全体」と別指標、混同を避ける
- 政策投入と市場拡大の二輪駆動で投資が継続拡大、3分野は世界覇権構築フェーズへと推移

主要国R&D投入額対比(2024年・10億USD)



中国R&D投入の推移(兆元)



## 指標① R&D投入 (研究開発費)

# 3.6兆元

2024年・前年比+8.6%

GDP比 2.68%

米国に次ぐ世界2位 / 日本の約3.7倍

## 指標② 戦略的新興産業GDP比

# 17%

2025年目標 / 2030年22%超見通し

関連企業200万社超

毎年1ポイント超で拡大 / 産業基盤が厚い

出典：新华网 / 人民日报 / 2025年国务院政府工作报告 / 中国共产党中央委员会

# 新質生産力 —— 戦略的新興産業と未来産業

- 習近平が2023年9月に黒龍江視察で『新質生産力』を提唱、2024年3月政府活動報告で国家政策化
- 戦略的新興産業GDP比率は2020年11.7%→2024年17%→2025年目標22%超で構造転換が加速
- 国家戦略は7+1+9分野（電池・新工ネ・AI・量子・ロボ・低空・フィジカルAI等）を網羅
- 2025年10月第14次5カ年計画最終年→2026年3月政府活動報告で第15次計画(2026-2030)始動



出典：中華人民共和国 国家統計局 / 中国共産党中央委員会 政府活動報告 / 第14次5カ年計画 / 中央經濟工作會議公報

# 新質生産力 —— EV・AI・ロボットが国家戦略の3本柱

- 新質生産力は「戦略的新興産業 + 未来産業」の二層構造、EV/AI/ロボット3分野がその中核を構成
- EVは「新エネ車産業発展規画」、AIは「人工知能+」、ロボットは「具身智能」が国家戦略の3本柱
- 中国の3分野は政策投入と市場拡大の二輪で同時加速、世界市場における主要プレイヤー化が進行中
- 2030年に向け国家投資と市場拡大の両輪駆動で、3分野とも世界覇権構築の段階に入る見通し

新質生産力 = 戦略的新興産業（成長中） + 未来産業（次世代育成）の二層構造

## EV（電動化）

新エネ車産業発展規画  
(2021-2035)

**急成長期**

国家計画として規制環境・  
インフラ整備を一体推進

## AI（人工知能）

「人工知能+」  
行動計画

**競合段階**

中国製AIモデルが世界の  
基盤層に組み込まれる段階

## ロボット（具身智能）

人形機器人創新發展  
指導意見

**量産元年**

量産元年に到達、世界出荷の  
大半を中国メーカーが占有

▶ 3分野統合 = フィジカルAI（Physical AI） —— 2026年「物理世界に作用するAI」の本格化

出典：工信部／2024・2025年国务院政府工作报告／新华网／中汽協／IDC／Hugging Face／人民日报



# 日中インフラ格差スナップショット

充電・5G/5.5G・電力・データセンター・スマートシティ

# 日中インフラ格差マップ — 中国国内データが示す新質生産力の土台

- 中国の年間発電量は10兆kWhと日本の約10倍、5G基地局400万局も日本の約13倍
- 労働節連休初日の高速道路EV充電量だけで2,303万kWh = 日本の原発1基が1日かけて発電する量とほぼ同じ
- 新エネルギー車の1日流通量1,540万台(前年比+33%)、日本の自動車保有台数の約2割が中国では1日で動いている
- インフラ絶対量の格差がEV・AI・ロボットの実装スピードと商用化規模を直接決定づける基盤

## 労働節 連休初日 高速道路EV充電量

**2,303万** kWh

≡ 原発1基1日分の電力

連休初日のたった1日、高速道路の充電だけで

## 労働節期間 新エネルギー車 1日流通量

**1,540万** 台/日

≡ 前年比 +33%

高速道路を1日で動く新エネルギー車の数

## データセンター電力需要(2030予測)

**9,450億** kWh

≡ 日本年間総発電量

中国信通院による2030年予測値

### 通信

5G-A方式で一世代先行、5G基地局も中国優位 >> 詳細数字は次ページ以降で提示

### 算力

EFLOPS世界2位、日本の数十倍規模 >> 詳細数字は次ページ以降で提示

### スマートシティ

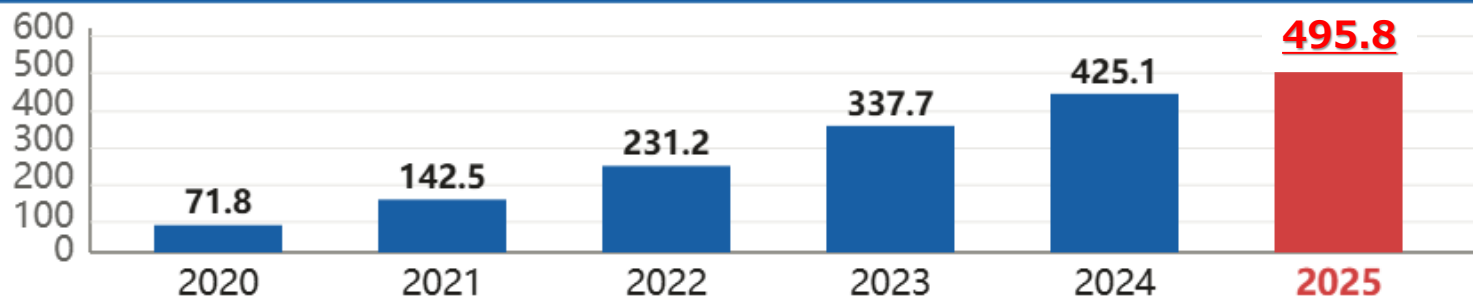
500都市超で実装段階、日本は実証段階 >> 詳細数字は次ページ以降で提示

出典：国家能源局《国家充电设施监测服务平台》(2026.5) / 国家统计局 / 工业和信息化部 / 交通运输部 / 中国信息通信研究院《中国数据中心综合能耗预测》

# 通信インフラ — 5G・5.5Gで中国が一代先行

- 中国5G基地局は2025年末で483.8万局、日本30.2万局の約16倍、5年で約7倍に急拡大
- 中国は2019年から方式SAを採用、世界初・最大の独立型5Gネットワークを国家戦略で構築
- 5G-A (5.5G) は中国移動主導で2024年から330都市超で商用化、IoT・産業用途を先行
- 日本はNSA中心でSA対応は15.6万局のみ、5G-Aは試験段階で実装スピードに大きな差

中国5G基地局の年次推移 (万局、2020-2025年末)



日中比較・5G-A・SA対応

約16倍

5G基地局 中国/日本

330都市超

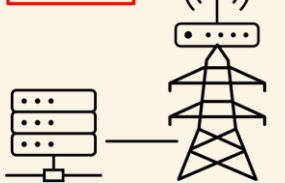
5G-A実装 (中国・2024~)

15.6万局

SA対応局 (日本のみ)

## 5G/5.5G の方式違いと実装段階の差

**NSA** 5G通信の装置



既存の4G設備

### ▼ NSA vs SA 方式の違い

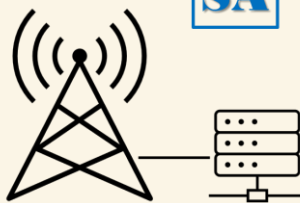
NSA = 4Gコア + 5G無線 (簡易型)

SA = 5Gコア + 5G無線 (完全独立)

**SAが低遅延・IoT・産業用に必須**

日本SA対応は15.6万局のみ

**SA**



一から全てを作る5G設備

### ▼ 5G-A (5.5G) の意味

帯域10Gbps超、遅延 < 1ms

IoT・Robotaxi・ロボット・産業4.0

**中国: 330都市超で2024年商用化**

日本: 試験段階で実装は限定的

出典：中華人民共和国 工業情報化部 (MIIT) / 中国信通院 / 日本総務省 情報通信統計データベース / 中国移動

# 電力インフラ — 中国の電力消費は世界初の10兆kWh突破

- 中国の電力消費量は2025年に10兆kWh突破、米国の約2倍、EU+ロシア+印+日合計を上回る規模
- 発電量は中国9.7兆 vs 日本0.96兆kWhで約10倍、設備容量も38.9億 vs 2.8億kWで14倍の格差
- 日本の産業用電気代は約20円/kWh、中国9~11円/kWhで約半額、電力多消費産業の競争力に直結
- 再エネ36%超・非化石60%超、蓄電池1億kW=世界40%、グリーン電力でも世界覇権を構築中

## 日中電力規模比較 — 発電量約10倍、設備容量約14倍の格差



### ① 産業用電気代

**日本の約半額**

中国 9~11円/kWh

日本 約20円/kWh

電力多消費産業の競争力に直結

### ② 再エネ・非化石

**36% / 60%**

再エネ発電量36%超

非化石電源容量60%超

太陽光12億kW・風力6.4億  
日本約26%・米国22%

### ③ 蓄電池容量

**1億kW**

世界の40%を占有

再エネ変動を吸収

グリッド安定の鍵  
2025年に到達

### ④ 西電東送

**3.4億kW**

輸送能力

西部綠色電力を

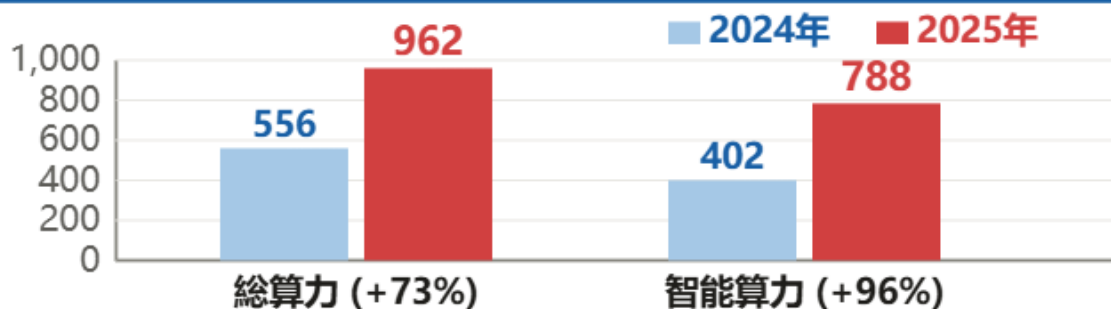
東部都市へ供給  
全国電力ネットワーク

出典：中国・国家統計局/国家能源局（2025年全国電力統計データ、2026年1月発表）/JETRO/日本資源エネルギー庁/中国電力（産業用料金参考）

# 算カインフラ —— 総算力962 EFLOPS、世界の21%

- 中国の総算力規模は2025年6月で962 EFLOPSに到達、世界の約21%・前年比+73%の急成長(工信部)
- 智能算力(AI算力)は788 EFLOPS、前年比+96%増で世界2位、中国全算力の81%を占める構造へ
- 東数西算プロジェクトで8大ハブ・10クラスターを構築、東部需要を西部緑色電力で供給する地理戦略
- 国家算カプラットフォームに64万ユーザー登録、骨幹ノード30超で全国一体化の算カ網を形成

### 中国算力の前年比急成長 (EFLOPS)



### 物理基盤の主要指標 (2025年6月)

標準ラック数

**1,085万**

存カ (ストレージ)

**1,680EB**

## 東数西算プロジェクト — 8大ハブで全国一体化算カ網

### ▼ 東部4ハブ (需要側)

京津冀 / 長三角 / 粵港澳大湾区 / 成渝

金融取引・AI推論・工業互聯網

低遅延が必要な業務を担う

→  
東数西算

### ▼ 西部4ハブ (供給側 / 緑色電力)

寧夏 / 内モンゴ / 甘肅 / 貴州

AI学習・データ保管・離線分析

風力・太陽光・水力の安価電力

**64万**

ユーザー登録  
骨幹ノード30超

出典：中国・工信部（2025中国算力大会発表、2025年8月） / 中国信通院『先進計算暨算力発展指数藍皮書（2025年）』 / IDC

# スマートシティ —— 中国500都市超で実装

- 中国は500都市超でスマートシティ建設・実装中、国家戦略として行政・民間が緊密連携し全国展開
- 杭州ET城市大脳、上海モデル、深圳、雄安新区、仏山水素都市など多様な実装事例が並行進行
- 5G・AIカメラ・データセンターを統合した「都市OS」が交通・医療・行政を一元最適化する構造
- 日本はスーパーシティ法で柏の葉等が実証段階、実装スピードと規模で中国に大きく後れを取る

## 中国500都市超でスマートシティ実装中 – 5つの代表事例

5G・AIカメラ・データセンターを統合した「都市OS」が交通・医療・行政を一元最適化

### ① 杭州市

#### ET城市大脳 3.0

アリババ提供 / 2016年～  
救急車優先信号制御  
200万駐車スペース管理

都市OSの世界モデル

### ② 上海市

#### 上海モデル

顔認証決済全面普及  
サービス全電子決済化  
個人IDアプリ統合運用

他都市への展開モデル

### ③ 深圳市

#### グローバル先鋒都市

38交差点AI信号制御  
デジタル政府ワンストップ  
2025ベンチマーク目標

2035完全イノベーション都市

### ④ 雄安新区

#### 千年大計

河北省・1,770km<sup>2</sup>  
更地からの設計  
AI・自動運転・BD・BC

世界初のゼロ設計都市

### ⑤ 仏山市

#### 水素都市

水素エネルギー全面活用  
グリーン水素製造  
水素自動車・燃料電池

グリーン都市の先進例

## 実装フェーズ (中国) vs 実証段階 (日本) – スピードと規模の差

### 中国: 実装 + 規模化

500都市超で実運用  
実証→量産→展開のサイクル

### 日本: 実証段階

柏の葉等の特定地域  
スーパーシティ法で推進中

### 差の意味

EV・AI・ロボットの  
社会実装の「受け皿」差

### 日系企業の機会

中国式都市OSの一部  
部品・素材で参画余地

出典：新华网/PwC Japan/JETRO/SBクラウド/Alibaba Cloud/中国・国家発改委智慧城市プロジェクト関連資料



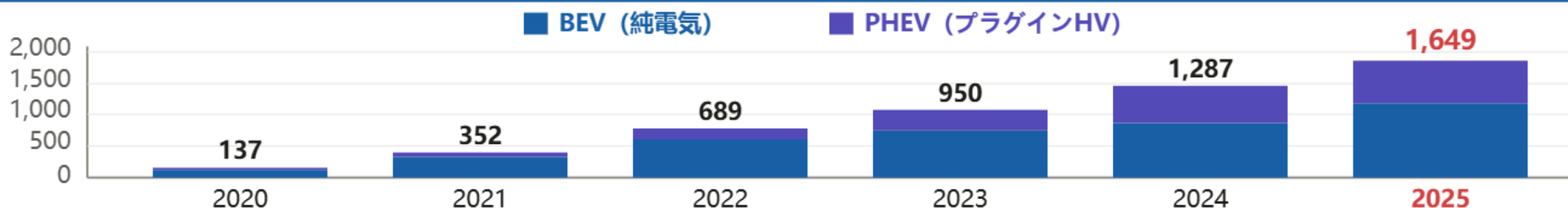
# 電動化と移動の未来

—— 中国EV市場の現在地

# 中国NEV市場の現在地

- 中国2025年新車販売3,440万台で過去最高、NEV販売1,649万台でシェア47.9%、11年連続世界最大
- NEV販売は2020年137万台→2025年1,649万台で5年12倍、BEV/PHEV両方が拡大の継続トレンド
- 国内向け販売ではNEV比率50.8%が既に半数突破、2025年9月単月では57.8%・BEV単独も36.86%
- 2025年自動車輸出は709.8万台で初の700万台超、うちNEV輸出261.5万台で前年比約2倍に拡大

中国NEV販売の年次推移と内訳 (2020-2025年、万台)



## 中国新車販売 2025年

**3,440万台**

前年比 +9.4% / 過去最高

乗用車 3,010万台

商用車 430万台

生産も3,453万台で最高

## NEV販売 2025年

**1,649万台**

+28.2% / シェア47.9%

BEV 1,062万台

PHEV 586万台

11年連続世界最大

## 自動車輸出 2025年

**709.8万台**

+21.1% / 初の700万超

うちNEV 261.5万台

前年比 約2倍

輸出の1/3がNEV

## 国内NEV比率と存在感

**50.8%**

国内向けは既に過半数

9月単月 57.8%

BYDが世界EV1位  
世界20社中10社が中国

出典：中国汽車工業協会（CAAM）／JETRO（2026年1月）／MarkLines／中国汽車流通協会乗用車市場情報協同会

# 多様な電動化技術 —— BEV/PHEV両輪

- 中国は4つの電動化技術（BEV/PHEV/HEV/FCV）を並走させ、用途別の最適化と多様化が進行
- 2025年NEV内訳はBEV 1,062万(64.4%)・PHEV 586万(35.5%)で両輪化、PHEVも急成長中
- 吉利Galaxy i-HEVが熱効率48.41%の世界記録、燃費2.22L/100km(45km/L超)ギネス取得
- 「電気主導・ガソリン補助」思想で既存ガソリン車置換、Full-domain AI 2.0で制御最適化

## 中国NEV販売内訳 2025年 (1,649万台)

### BEV / PHEV 構成比

**1,062万台**  
BEV 64.4%

**586万台**  
PHEV 35.5%

BEV優位だが多様な電動化技術が並走中

## 吉利 Galaxy i-HEV – 2026年4月13日 杭州発表

熱効率 (ガソリン側)

**48.41%**  
世界記録

WLTC燃費

**2.22L/100km**  
45km/L超・ギネス

システム: Full-domain AI 2.0  
思想: 「電気主導・ガソリン補助」

### ① BEV (純電気)

**1,062万台**

充電インフラ+大容量電池  
都市内・通勤需要に最適  
中国NEV市場の主流  
+37.6% (前年比)

### ② PHEV / REEV

**586万台**

電池+ガソリンエンジン併用  
長距離・充電不安を解消  
BYD DM-i・理想L9等  
+14% (前年比)

### ③ HEV (吉利i-HEV)

**48.41%**

熱効率の世界記録  
電気主導・ガソリン補助  
既存ガソリン車置換へ  
日系HEVに対抗

### ④ FCV (水素)

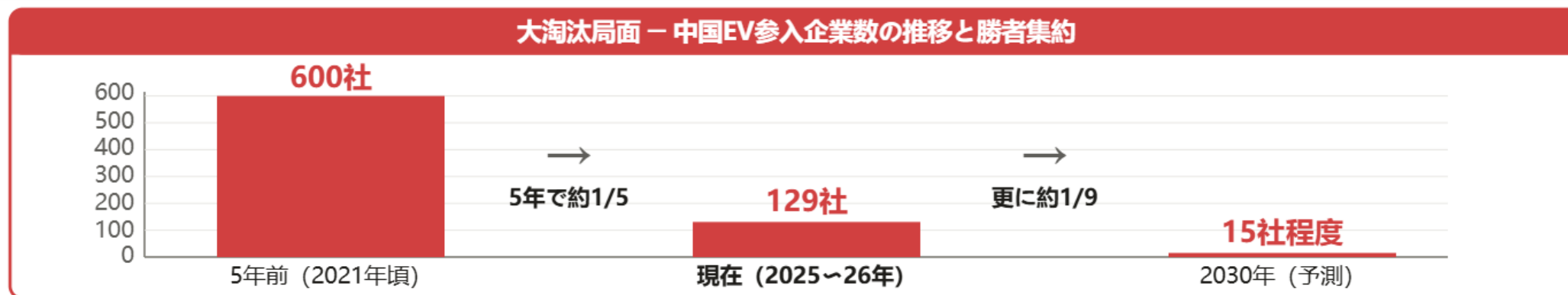
**0.8万台**

ニッチ用途中心  
商用バス・トラック  
物流・運輸インフラ  
商用化は限定的

出典: 中国汽車工業協会 (CAAM) / 吉利汽車公式 (2026年4月13日プレスリリース) / JATO Dynamics / 中国信通院

# 価格戦争と勝者の構造

- 中国EV市場は過去5年で600社→現在129社、2030年までに15社程度へ大淘汰が進行中の局面
- NETA（哪吒汽車）は2025年に破産、勝ち残りはBYD・吉利・上汽・新興大手に絞られる構図が確定
- BYDは部品75%内製の垂直統合でコスト35%優位、補助金単独優位は\$292/車のみで構造的に強い
- 2026年に価格戦争は転換、リチウム+125%等のコスト増でBYD・小鵬・奇瑞が値上げ・ADAS有料化



## 勝者の条件①: 垂直統合の構造

### BYD: 部品の自社内製率

**75%**

BYD内製率

電池・モーター・  
チップ・電子制御  
すべて自社開発

**35%**

1台あたりコスト優位

VW内製率33%との比較  
補助金単独優位は  
\$292/車のみ (Rhodium)

## 2026年の転換: 価格戦争 → 値上げ局面へ

### 主要メーカーの値上げ事例 (2026年)

- BYD: ADASを9,900→12,000元、王朝/海洋で割引縮小
- 奇瑞ET5: 実質1万元値上げ、運転支援を有料化
- 小鵬P7 (26年版): 運転支援機能をオプション化

背景: リチウム+125%、DRAM高騰、AI投資負担増

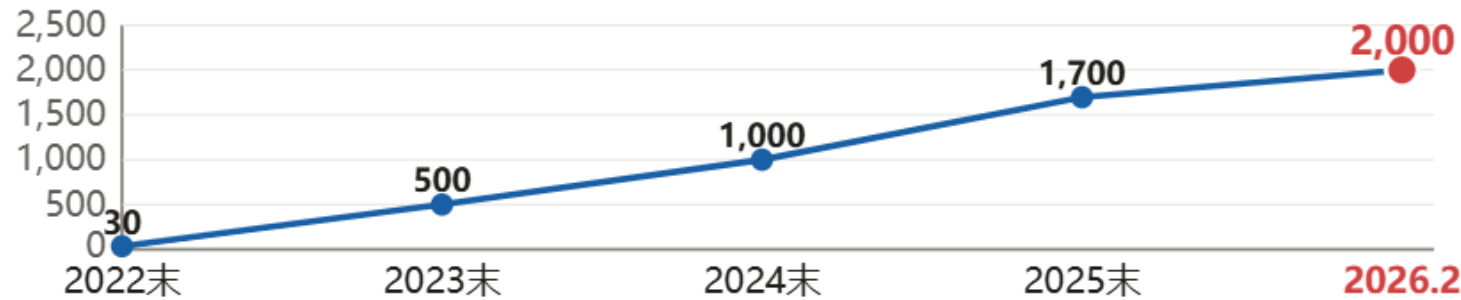
価格戦争は沈静化、収益性回復フェーズへ

出典: Rhodium Group / 中国汽車工業協会

# 自動運転Robotaxi —— 累計2,000万回と規制の両輪

- Apollo Go（百度）は2026年2月時点で累計2,000万回・3億km運行、26都市稼働で海外展開も実現
- 中国Robotaxi主力はApollo Go・Pony.ai・WeRide、XPeng量産Robotaxi発表とトヨタも参入予定
- 2026年4月1日武漢でApollo Go 100台以上が同時停止、4月29日に政府が新規免許発行を一時凍結
- 「事故ゼロ」ではなく「人間より総体的に安全か」の検証段階、商用化と安全性の両立が課題

Apollo Go 累計乗車回数の推移 (万回、2022末~2026.2)



主要稼働指標 (2026年2月時点)

**2,000万回**  
Apollo Go 累計乗車

**3億km**  
累計自律走行距離

**26都市**  
Apollo Go稼働都市

## 2026年4月武漢事故と政府対応

### 4月1日夜 - 武漢で大規模システム障害

Apollo Go 100台以上が同時停止  
高速環状道路で大規模渋滞・追突事故も

4月29日 - 政府が新規免許を一時凍結  
3省庁が連携、既存事業者に安全点検指示

## 「完璧」ではない技術段階の現実認識

### 技術と規制が並走する成熟期へ

- 武漢事故で負傷者ゼロ / 運行は再開
- クラウド依存型の構造的リスク露呈
- 国家戦略としての推進姿勢は維持
- 安全基準の見直しと再強化が進行中

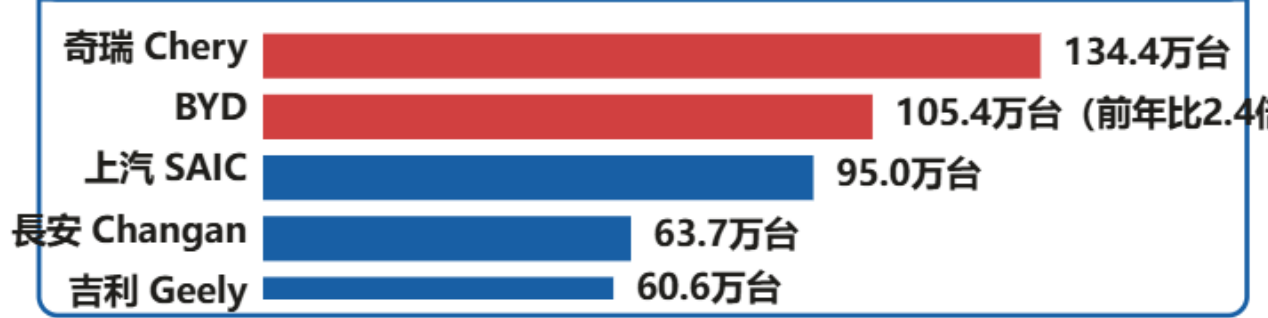
「人間より総体的に安全か」の検証段階

出典：百度Apollo Go公式発表/Bloomberg/自動運転ラボ/innovatopia.jp/MobyInfo/工業情報化部 (MIIT) /湖北日報

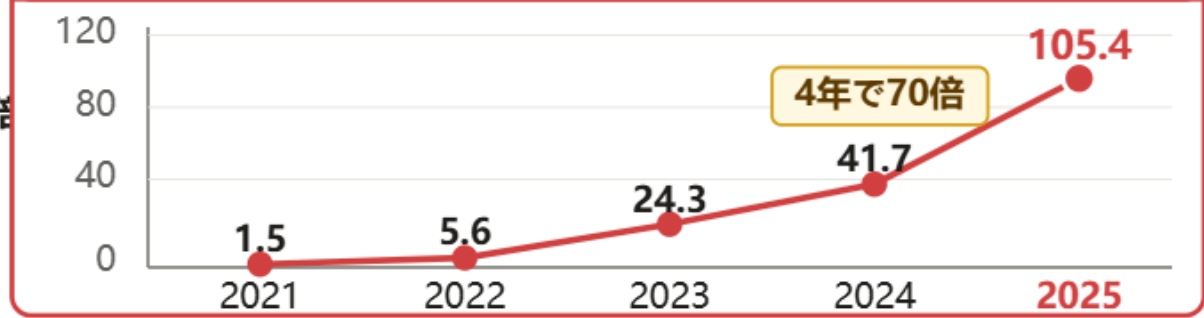
# 海外展開 —— 中国自動車輸出710万台

- 中国自動車輸出は2025年に709.8万台で初の700万台超、奇瑞134万台/BYD105万台/上汽95万台
- BYDはタイ・ハンガリー・ブラジル・ウズベキスタン等で現地生産化、100カ国以上に販売拠点
- ASEANはタイ年産15万台・マレーシア2026年生産開始、欧州はハンガリー4億ユーロR&D拠点
- 中国系メーカーは現地生産化で関税障壁を回避、世界各地で日系メーカーと並ぶプレゼンスへ

## 中国メーカー別 海外輸出ランキング (2025年)



## BYD海外輸出推移 (2021~2025年、万台)



### タイ (ASEAN)

**年産15万台**

BYD工場 (2024.7完工)  
日系シェア80%超の市場へ  
電動バス・乗用車を投入  
ASEAN進出の中心拠点

### ハンガリー (欧州)

**4億ユーロ**

BYD欧州本部 + R&D  
セゲドに工場稼働中  
ブダペスト欧州本部  
EU関税障壁を回避

### ブラジル (中南米)

**工場稼働中**

BYDバイア州工場  
中南米市場の拠点  
電池工場も併設  
トラック含む多車種展開

### マレーシア・他

**2026年生産**

CKD現地組立方式  
インドネシアも進行中  
ウズベキスタン工場  
100カ国以上で販売

出典：中国汽车工业协会 (CAAM 2026年1月発表) / MarkLines / BYD公式発表 / 吉利汽車公式

# 車内空間ビジネスの拡張マップ —— 6カテゴリで商機拡大

- EV+自動運転で車内は「運転する場」から「プライベート空間」へ変容、新たな商機が6分野で拡大
- ハードウェア（シート/内装/照明/音響）、エンタメ（後席ディスプレイ/AR-VR/ゲーム）が立ち上がり
- ビジネス（モバイルワーク）、広告（パーソナライズ/車体外サイネージ）、サービス、車内OSも拡張
- 日系の素材・電子部品・コンテンツ・サービス業に参画余地、輸出と現地化の両軸で商機が拡大中

## ① 車内環境のハードウェア

シート（マッサージ・ゼログラビティ）  
内装素材・照明・空調・香り  
サウンドシステム・車載冷温庫  
プライバシー・調光ガラス

日系機会：シート・素材・電子部品

## ② エンタメ・ゲーミング

後席大型ディスプレイ  
ゲーム・カラオケ・ライブ配信  
AR/VR体験・360度映像  
TikTok・WeChat連携機能

日系機会：ディスプレイ・コンテンツ

## ③ ビジネス・モバイルワーク

移動オフィス化  
車内ビデオ会議システム  
移動商談ブース・キーボード  
シェアオフィス付Robotaxi

日系機会：通信機器・OA関連

## ④ 広告・メディア

車内パーソナライズ広告  
Robotaxi車体外サイネージ  
「走るメディア」化  
位置・属性・時間連動配信

日系機会：広告代理店・メディア

## ⑤ サービス・体験

車内デリバリー受取・決済  
観光ガイド付Robotaxi  
移動診療・移動健診車両  
車内フィットネス・瞑想

日系機会：サービス業全般

## ⑥ プラットフォーム・OS

車載OS（HarmonyOS等）  
車内AIアシスタント  
車内コンテンツ課金  
車車間ソーシャル機能

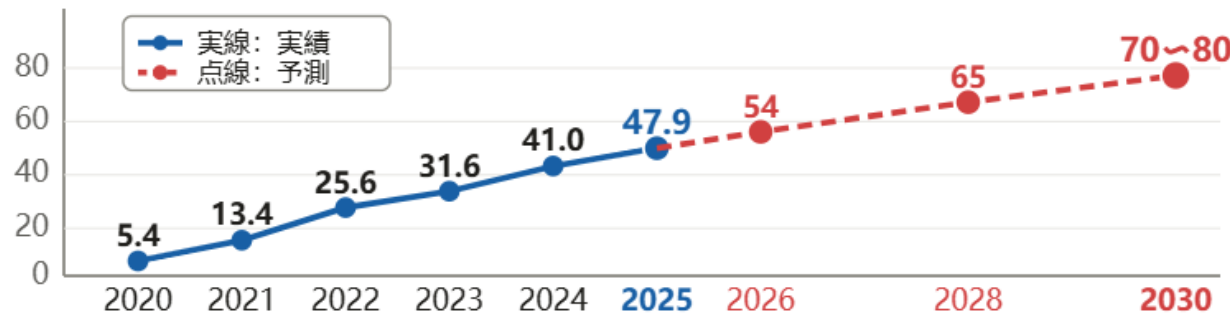
日系機会：SW・コンテンツ・AI

出典：中国乗連会/HarmonyOS Connect発表資料/NIO・BYD・XPeng・Li Auto各社公式発表

# 5～10年予測と日本への波及

- 2030年に中国NEVシェアは新車販売70～80%、輸出は東南アジア・欧州・中南米中心に拡大の見込み
- BEV・PHEV・HEVの多様な技術と自動運転Robotaxiが融合し、フィジカルAI時代の中核を形成
- 「移動空間」が運転する場から「生活・仕事・くつろぎの場」へ変容、車内市場に新領域が出現
- 日系には車内空間部材・コンテンツ・サービス、海外現地生産、地方Robotaxi導入で機会拡大

### 中国NEV新車シェア推移と2030年予測 (%)



### 3つの2030年予測

- ▼ 世界市場でのプレゼンス  
中国系世界シェア30%超、現地生産化で関税回避
- ▼ フィジカルAI時代の本格化  
EV×自動運転×AIで新しい交通システムへ
- ▼ 「移動空間」の意味の変容  
運転する場 → 生活・仕事・くつろぎの場へ

## ① 車内空間部材ビジネス

シート・内装・照明・空調  
音響・素材・電子部品  
日系世界トップシェア多数  
**需要拡大の波に乗る**

## ② 地方公共交通の代替

人口減・運転手不足の解  
L4小型バス・Robotaxi導入  
京都・福井・茨城で実証中  
**運用・カスタマイズ事業**

## ③ 海外現地生産参画

BYD・吉利の海外工場  
現地サプライヤー機会  
部品・素材・電子部品  
**日系サプライ網の拡張**

## ④ 開発スピード変革

中国18～24ヶ月の新車サイクル  
日系の4年サイクルからの転換  
中国市場で学ぶ機会  
**経営課題への接点**

出典：中国汽车工业协会 (CAAM) / 工業情報化部「新エネルギー自動車産業発展計画(2021-2035)」 / IEA Global EV Outlook / McKinsey China Auto Insights



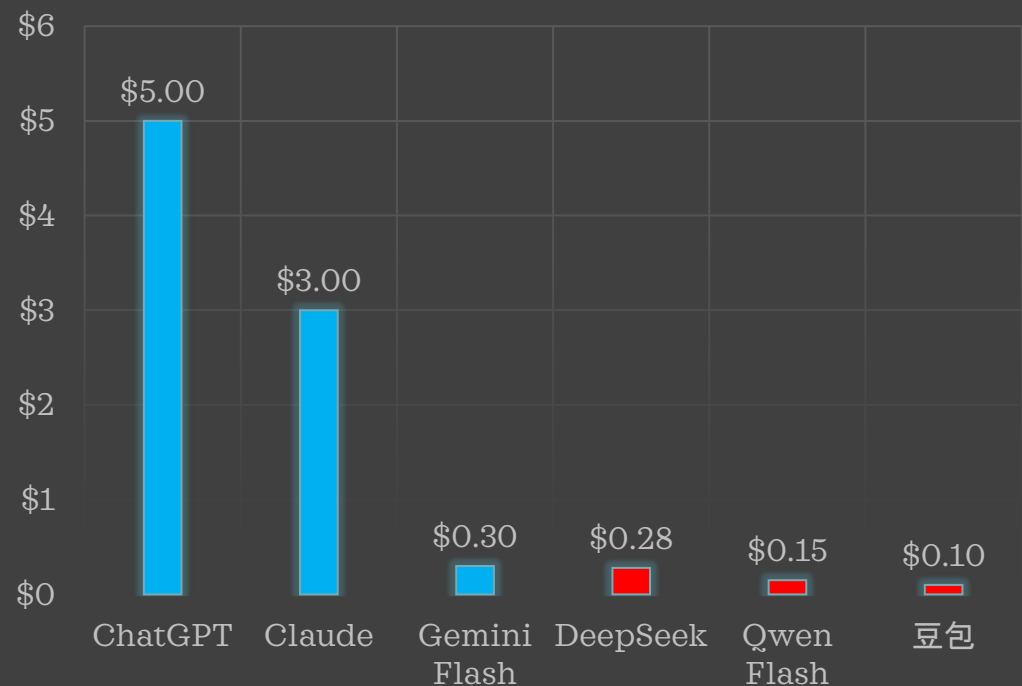
# 中国AIの全貌

—— 基盤モデル・チップ・産業実装参入戦略とリスク

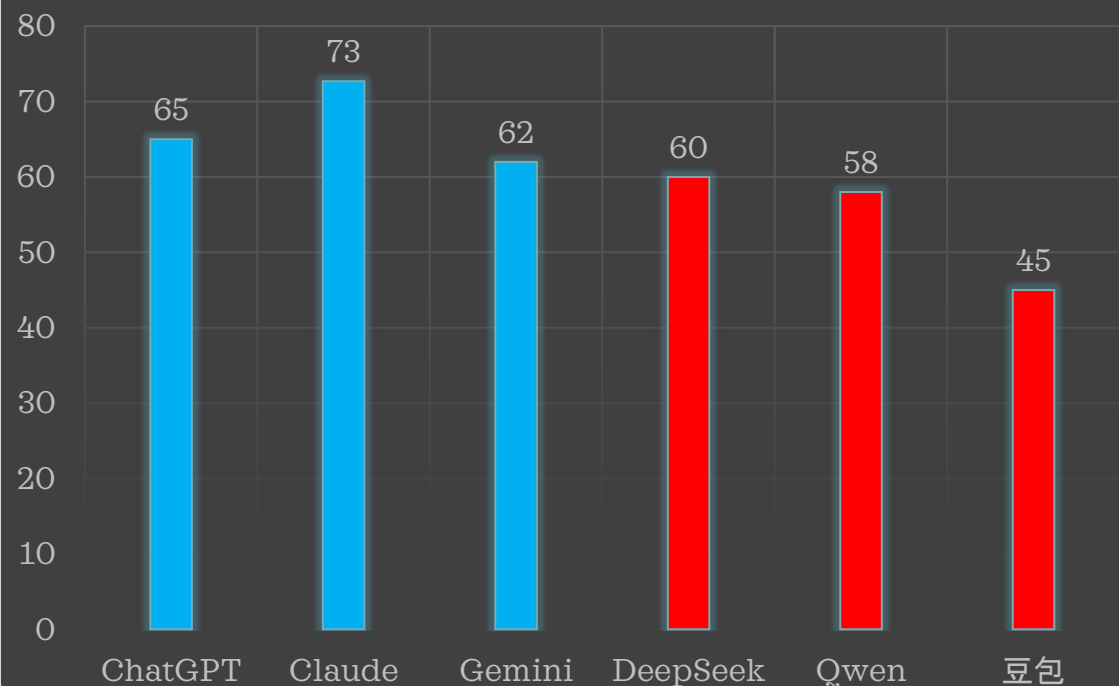
# 2026年5月のAIモデル米中対比 — 戦略・性能・価格の差

- 海外勢ChatGPT・Claude・Geminiはクローズド／中国勢DeepSeek・Qwen・豆包はオープンソース戦略
- コード能力（SWE-Bench Pro 2026.3）：Claude 4.6が72.7%トップ、中国勢は55～60%帯で米国に肉薄
- API入力価格（百万Token当）：ClaudeとChatGPTは\$3～\$5、中国勢は\$0.05～\$0.30で10～30倍安い
- 週次アクティブ：海外勢は世界市場主導、中国勢は中国国内10億ユーザー基盤で別市場を独占構築

### API入力価格対比(\$/百万Token)



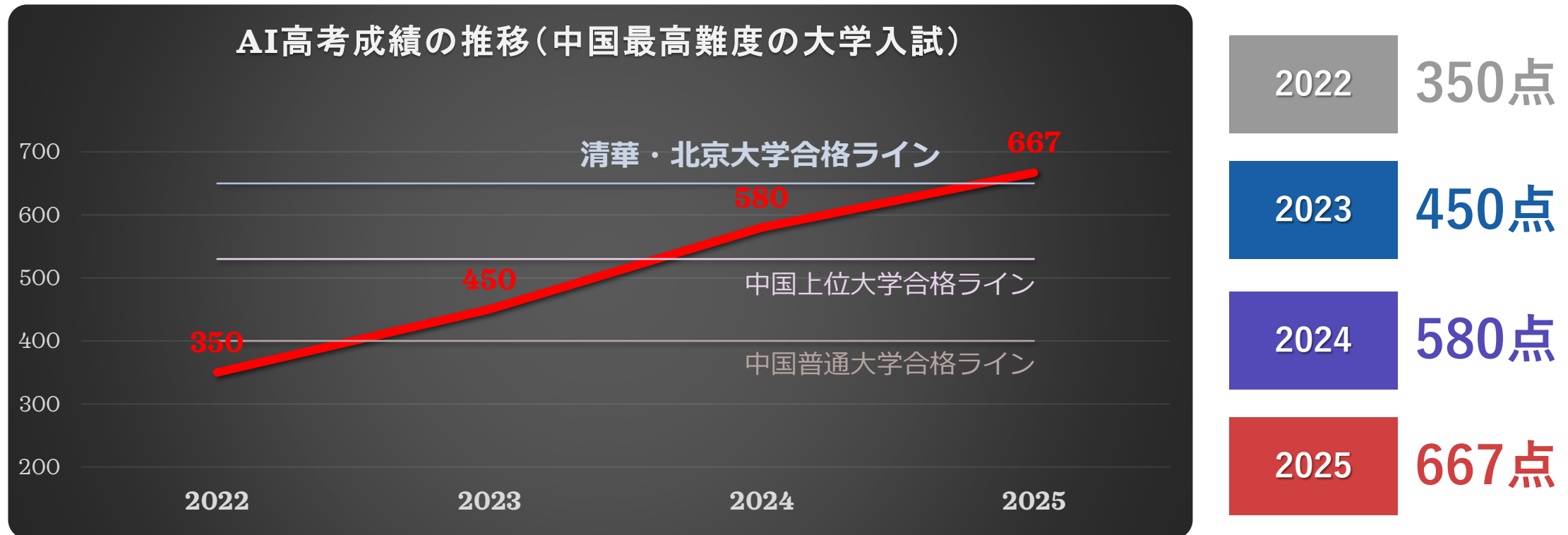
### コード能力対比(SWE-Bench Pro %、2026.3)



出典：SegmentFault 中国大模型API横評 2026.3／太平洋科技6大模型評測（Gemini 3 = 94.6点）／DataEyes 集約 2026.4

# AIの過去5年進化スピード —— 高考成绩の推移グラフ

- 上海AI実験室「司南OpenCompass」が毎年中国高考（大学入試）の成績で大模型の知能を評価
- 2022年GPT-4は約350点（中国普通大学にも届かず）、3年後の2025年AIが667.5点で清華・北京大学レベル
- 1年あたり約100点ペースで上昇、これは人間学生では到底ありえない指数関数的な進化速度
- AIが中国最高難度の大学入試で人類トップ層と並ぶ時代、業界変革の臨界点に到達済み。GPTは東大にも首席合格

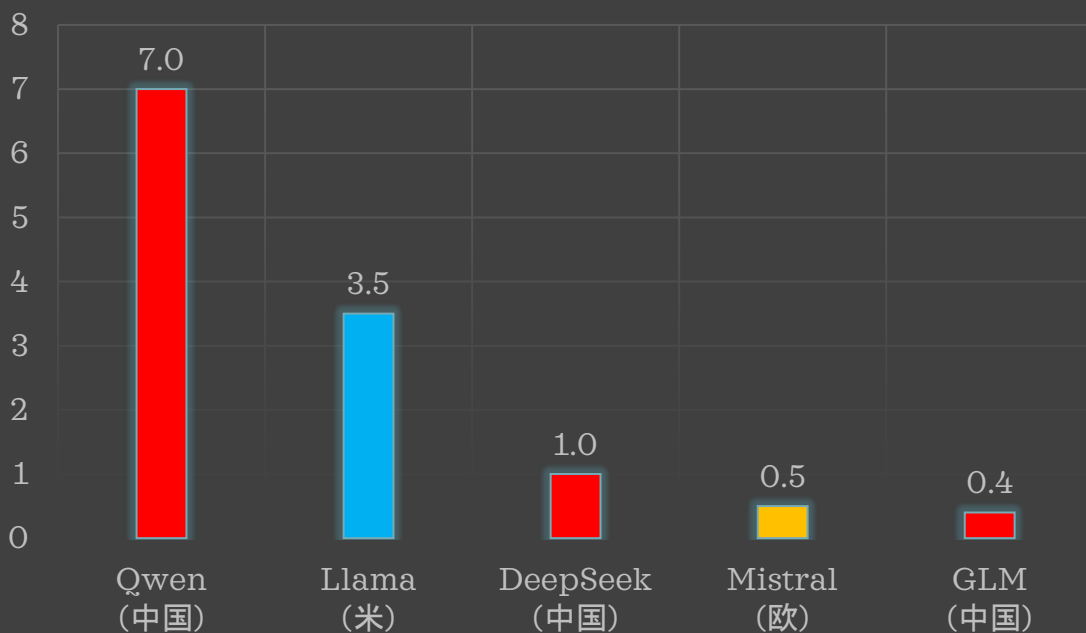


出典：上海人工智能実験室「司南OpenCompass評価体系」／新浪科技「AI大模型高考成绩単」2025.6.13／C114通信網

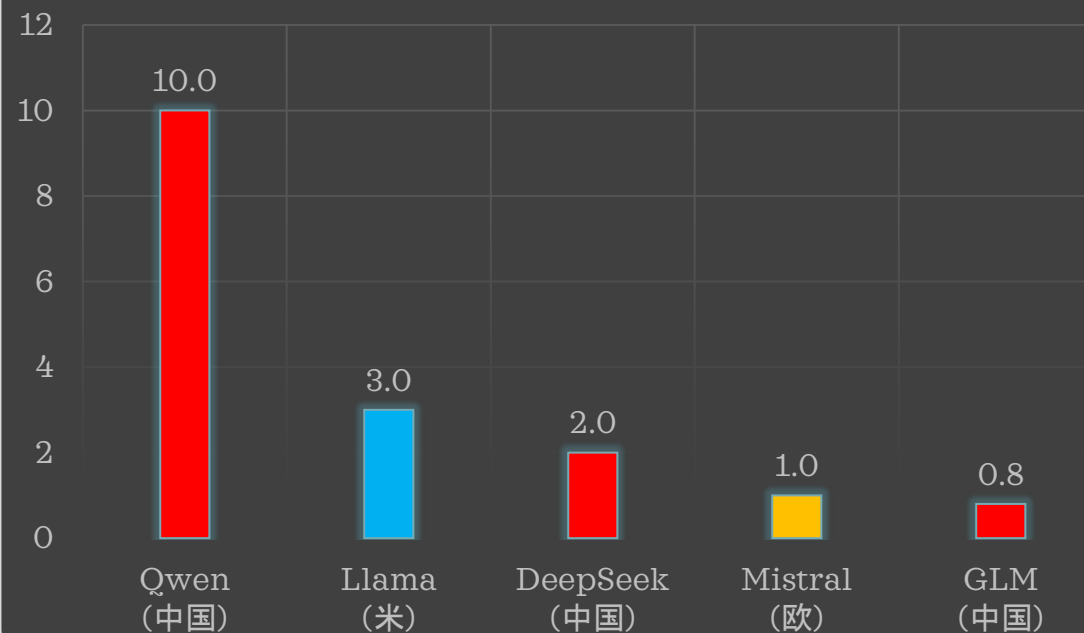
# 中国AIモデルのグローバル採用

- 米国勢クローズド／中国勢オープンソースの戦略の違いが、世界採用率に決定的な差を生んでいる
- HuggingFace累計DLでQwenが7億回・世界一、Llamaの2倍規模、世界開発者の標準モデルへ
- 派生モデル数でQwen 10万超、Llamaの3倍以上、世界最大の開源AIエコシステムを形成
- 結果：Cursor Composer 2 = Kimi K2.5基底、スタンフォード s1 = Qwen基底、世界が中国モデル採用

## オープンモデル 累計DL対比(億回)



## 派生モデル数対比(万件、2025年末)

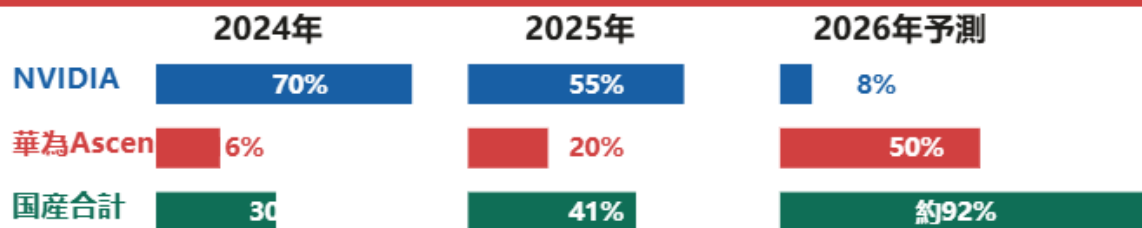


出典：Downly「阿里通義千問下載破7億」2026.1.15／量子位 2025.2.10／HuggingFace公式統計

# AIチップの自主製造

- IDC 2025年データで中国AI加速卡市場400万張、国産41%突破165万張、NVIDIAは55%（220万張）に縮小
- 華為Ascend 81.2万張で国産1位・市場シェア20%、2024年比+27%、寒武紀・平頭哥・昆侖芯が国産四強
- 華為全联接大会2025発表でAscend 950PRが2026Q1量産、自研HBM 112GB、推論コストGPT-4の1/70実現
- Bernstein予測で2026年華為50%・NVIDIA 8%へ、2028年中国本土AIチップの供需比104%で需要超え生産

## 中国AI加速卡市場シェア推移 (IDC 2025)



2025年市場総出荷 400万張、国産が初の40%突破

## Ascend ロードマップ (華為全联接大会2025)



### ① NVIDIA縮小

95→55→8%

3年で40ポイント縮小

2025年: 220万張

2026年予測8%へ

米制裁が自主化加速

### ② 華為Ascend独走

81.2万張

2025年中国出荷

前年比 +27%

国産シェア 49%

互聯網大手が大規模採用

### ③ Ascend 950PR競争力

GPT-4の1/70

Atlas 350加速卡

NVIDIA H20の2.87倍

価格はH20の1/3

国内初FP4量産推理

### ④ 自給率突破

104%

2028年 供需比予測

2025-28 CAGR 74%

2028年売上+93%

国内需要超え輸出余力へ

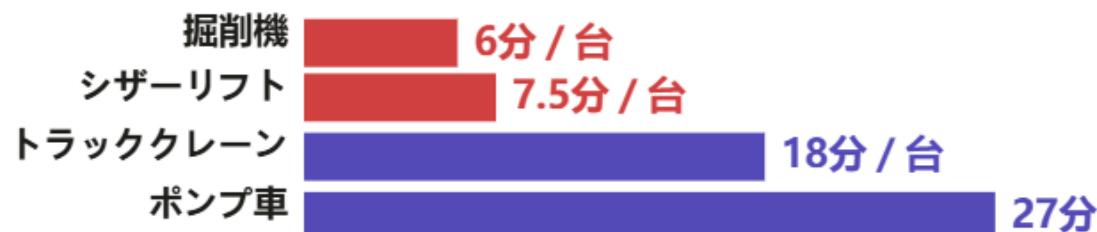
出典：IDC 2025年中国AI加速卡市場報告／華為全联接大会2025／新浪財經／36氪／電子工程專輯／Bernstein Research

# 製造効率の桁違いな飛躍

- 中国スマート工場は新局面に突入、AI+ロボット導入で生産速度・自動化率・稼働時間が桁違いに改善
- Zoomlion建設機械工場は掘削機6分・シザーリフト7.5分に1台、高品種小ロットでアジャイル製造実現
- 広東省ヒューマノイド量産ラインは30分に1台ペース、年産1万台超、自動化率92%の驚異的水準
- CATL電池工場でGalbot S1が両腕50kg可搬・8時間連続・自動バッテリー交換で実戦稼働中

## Zoomlion 建設機械の生産速度 (分/台)

バーが短いほど高速 - 高品種・小ロットでアジャイル製造



## 中国製造業AI実装 主要指標

**30分 / 1台**

広東省ヒューマノイド量産ペース

**92%**

同ライン 工場自動化率

**24時間**

スマート工場稼働時間 (春節中も)

**50kg×8h**

Galbot S1 (CATL工場稼働)

## ① Zoomlion AI製造

**6分 / 1台**

掘削機が生産速度  
高品種・小ロット  
アジャイル製造実現  
AI診断 95%精度

## ② 広東ヒューマノイド量産

**1万台/年**

30分 / 1台、自動化92%  
ヒューマノイドの量産  
広東省・量産ライン稼働  
世界初の量産化事例

## ③ 寧波鋼鉄 24時間

**春節も無人**

24時間スマート工場  
ロボット犬が巡回点検  
AI鉄スクラップ判定  
データフローが生産支配

## ④ Galbot S1 @ CATL

**50kg×8h**

電池工場で実戦稼働  
両腕50kg可搬  
自動バッテリー交換  
CATL電池工場実装

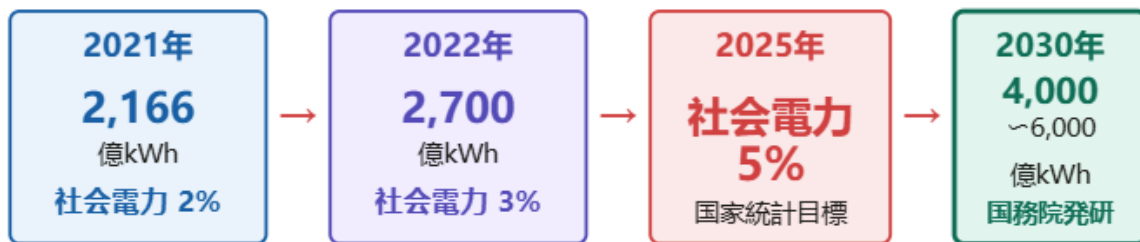
出典：ロボスタ 2026.1.19 (Zoomlion AI製造) / AIフレンズ 2026.4.17 (広東省ヒューマノイド量産) / Science Portal China 2026.2.27 (寧波鋼鉄24h工場) / CATL / Galbot公式

# AI電力消費

- 中国電子学会・国務院発研推計で中国DC電力は2022年2,700億kWh、2025年全社会用電量5%相当に到達
- 国家発改委「東数西算」8大枢紐節点で2024年3月時146万機架達成、最先進PUE1.04・緑電80%実装中
- 国家数据局発表で2030年DC電力需要は4,000-6,000億kWhへ、清浄エネと算力電力協同で確保が国家政策
- 国家発改委は2025年新建DC PUE $\leq$ 1.25・枢紐節点 $\leq$ 1.2を義務化、可再生エネ年率+10%・2030年世界先進

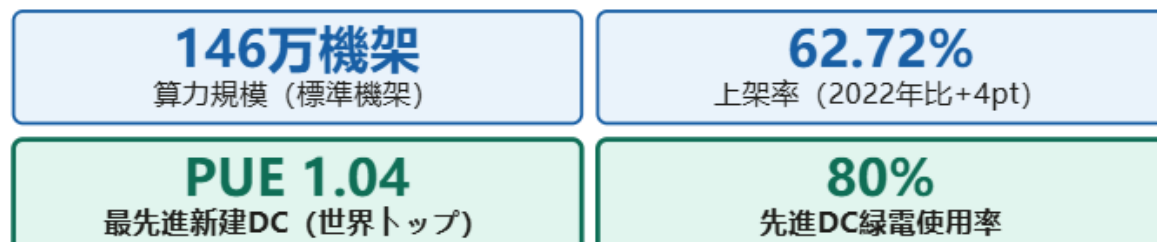
## 中国DC電力消費推移 (中国電子学会・国務院発研)

計画的拡張: 4倍以上の伸びを国家戦略で吸収



## 東数西算 8大枢紐節点 (国家発改委2022起動)

国家数据局 杜巍司長 2024.3発表 主要実績



## ① 西部清浄エネ拠点

### 地理的優位

青海・新疆: 太陽光・風力  
内蒙古: 風力大国  
雲南: 水力主体  
西部清浄エネ×東部需要

## ② 政策フレームワーク

### 4部委 共同印発

專項行動計画 2024.7  
發改委・数据局・能源局  
+工信部の連名義務化  
国家戦略として強制実装

## ③ 算電協同の実証

### 3方式 技術開發

緑電直供  
多源互補  
源荷互動  
京津冀・長三角・蒙先行

## ④ 日本との対比

+13倍

日本DC需要 (2034経産省)  
+715万kW 新規需要  
原発約7基相当  
日本は構造的制約

出典: IEA「Energy and AI」2025年4月 / 中国電子学会 / 国務院發展研究中心 / 国家發展改革委員会 / 国家能源局・工信部 / 国家数据局公式サイト / 新華網

# 産業AI実装 —— ダークファクトリー（黒灯工厂）から医療・物流・農業まで

- 中国は製造・医療・物流・農業の4業界でAI実装が同時並行で展開、世界先行水準に到達
- ダークファクトリー（=黒灯工厂=無人工場）北京・上海・広東等で拡大、北京AIサーバー工場は年100億元規模
- 医療AIは画像診断・遠隔診療・新薬開発で実装、AI診断95%精度システムが各地で運用
- 物流AGV・農業ドローン・精密農業まで、AI×ロボットの実装が全産業で日常化

## ダークファクトリー 主要実装例

- 北京AIサーバー専用DF
- Foxconn 深圳ライトオフ工場
- 宝山鋼鉄（上海）
- 四川徳陽 無人ブレード加工
- 小米スマート工場（北京）
- 理想汽車 北京工場

**年100億元・2025年内稼働**  
完全自動化生産  
DFの先駆例  
中国初の無人工場  
24時間連続稼働  
高度自動化EV製造

## 産業AI実装の経済インパクト

**年100億元**  
北京AIサーバーDF 生産規模

**1.2兆ドル**  
2025年 中国貿易黒字

**+22%**  
2026年1-2月 輸出増加率

**24時間**  
DF連続稼働、消灯製造

## ① 製造業（ダーク）

### 完全無人化

北京・上海・広東で拡大  
AIサーバー・鋼鉄・EV  
24時間稼働・消灯製造  
人件費・コスト圧倒的優位

## ② 医療AI

### 95%精度

画像診断・遠隔診療  
平安好医生 6億ユーザー  
AI新薬開発加速  
医療資源格差解消へ

## ③ 物流AI

### AGV無人化

京東・菜鳥・順豊  
倉庫AGV搬送ロボット  
ドローン配送・AI物流網  
EC物流の効率革命

## ④ 農業AI

### DJIドローン

精密農業・農薬散布  
病害虫検出AI  
養殖管理自動化  
食料生産の高効率化

出典：Science Portal China 2025.9（北京AIサーバーDF）／Bloomberg 2026.3.9（広東省DF拡大）／人民網 2025.9（四川徳陽無人加工）／中華IT最新事情 2026.5.17

# AI導入の現実 — 91%が期待未達、過熱期から実装期へ

- デロイト中国が衝撃発表、製造業AI導入の91%が期待未達、メリット達成度80%以上はわずか9%
- 失敗原因は「目的不明確」「データ基盤不足」「組織変革の遅れ」、AIは魔法の杖ではない現実
- 中国AIにも規制・地政学リスク、米下院がAirbnb調査、EU AI Act等の海外規制も実装制約に
- それでも導入は拡大中、「過熱期から実装期への移行」が中国AIの2026年の正確な現在地

## 中国製造業AI導入の現実 (デロイト中国 2026.5)

調査: 中国製造業500強から110社、経営者アンケート

メリット達成度 **9%** **91% 期待未達**

投資・時間達成度 **9%** **91% 期待未達**

■ 80%以上達成 (成功) ■ 80%未満 (期待未達)

## 失敗の主要3原因 (デロイト分析)

① 目的・KPIが不明確 — 「AIで何を変えるか」が曖昧

② データ基盤・品質不足 — AIはデータで初めて機能

③ 組織変革・人材育成の遅れ — プロセス・意識が壁

## ① 91%期待未達

# 91%

AI導入の期待未達率  
デロイト中国 2026.5  
中国製造業500強110社  
成功はわずか9%

## ② 失敗の3原因

# 3原因

構造的失敗要因  
目的・KPI不明確  
データ基盤・組織変革  
「魔法の杖」ではない

## ③ 規制・地政学

# 米下院調査

海外規制リスク  
USCC警告 (2026.3)  
Airbnb調査・EU AI Act  
実装の制約要因に

## ④ 現実主義の見方

# 過熱期→実装期

2026年の中国AI現在地  
用途特化・段階導入へ  
全社一律AIは幻想  
日本企業にも示唆

出典: デロイト中国 「企業におけるAIの活用状況」2026年AIレポート/USCC 「Two Loops」2026.3/米下院China委員会調査 2026.4

# 4戦略選択肢で「見誤れない」中国AI対応

- 中国AIは「3層構造×国家システム」、日本企業はこれを正面から評価し対応戦略を立てる必要
- 4つの戦略選択肢：①中国モデル活用②独自開発継続③ハイブリッド④コア領域特化を提示
- 機会領域：中国モデル価格優位の活用、コア部品供給、AI実装ノウハウの相互補完
- リスク領域：地政学・規制・供給網依存、デロイト「91%失敗」教訓を踏まえた段階導入を

## 日本企業の4つの戦略選択肢

### ① 中国モデル活用

Qwen/DeepSeek採用

### ② 独自開発継続

国内データ主権・規制対応

### ③ ハイブリッド

用途別使い分け・リスク分散

### ④ コア領域特化

強み領域に集中投資

## 機会領域 vs リスク領域

### ▼ 機会領域 (Opportunity)

- 中国モデル価格優位 (1/40) 活用、ROI改善
- コア部品供給・AI協業・産業特化開発の機会

### ▼ リスク領域 (Risk)

- 地政学・規制リスク (USCC・米下院・EU AI Act)
- 供給網依存・データセキュリティ懸念

## ① 価格優位の活用

**1/5～1/40**

中国モデルAPI価格  
コスト競争力で差別化  
Airbnb・Cursor先例  
戦略的活用を検討

## ② インフラ制約

**+13倍**

日本DC需要逼迫  
2034年最大需要急増  
電力確保が国家課題  
地政学的判断必要

## ③ 失敗の回避

**91%失敗の教訓**

デロイト中国分析  
目的・KPI明確化  
データ基盤・組織変革  
段階導入が現実解

## ④ 戦略選択

**5-10年視野**

国家システム視点  
短期性能勝負でない  
業種特化戦略が鍵  
パートナーシップ模

出典：筆者総括



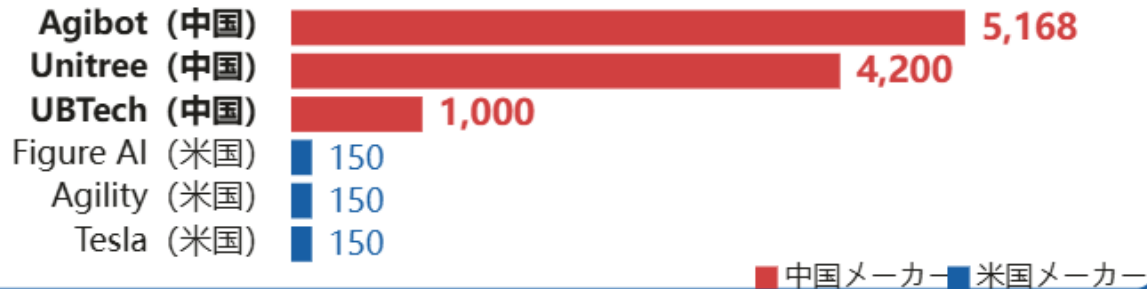
# ヒューマノイドロボット

— 量産時代の到来

# 2025年ヒューマノイド世界出荷1.3万台、中国勢78%独占

- 2025年世界ヒューマノイド出荷は1万3,317台、中国3社が78%を独占（Omdia 2026年初）
- 首位はAgibot（智元）5,168台でシェア39%、2位Unitree 4,200台、3位UBTech 1,000台
- 中国市場規模は約1,600億円で世界の50%、中国企業数は110社超で世界の半数を占有
- 2035年予測は年間260万台、現状から約200倍の爆発的成長、自動車・スマホに次ぐ大産業へ

## 2025年世界ヒューマノイド出荷ランキング（台）



## 主要指標（Omdia / 信通院）

**1.33万台**  
2025年世界出荷台数

**78%**  
中国3社の世界シェア

**110社超**  
中国ヒューマノイド企業数

**260万台**  
2035年予測（Omdia）

### ① 世界出荷規模

**1.3万台**  
2025年世界出荷  
Omdia発表 2026.初  
量産化軌道入り  
前年比大幅増

### ② 中国独占

**78%**  
中国3社の世界シェア  
Agibot 39%  
Unitree 32%  
UBTech 7%

### ③ 中国の地盤

**110社超**  
中国企業数  
世界の半数を占有  
市場規模 1,600億円  
世界市場の約50%

### ④ 2035年予測

**260万台**  
2035年世界出荷予測  
現状から約200倍  
自動車・スマホ級産業  
社会変革レベルの拡大

出典：Omdia「Humanoid Robot Shipment Forecast」2026年初発表／Omdia／CGTN 2025.4.21／中国情報通信研究院（信通院）2024年報告

# 実稼働事例 —— 自動車・電池・電子機器・物流

- UBTech Walker S2はZeekr EV工場で24時間運用、Galbot S1はCATL電池工場で実稼働
- Agibotは物流・サービス、Unitreeは研究実演、UBTech Walkerは電子機器組立で並行展開
- 中国ヒューマノイドは「実稼働段階」に到達、産業別に最適化された展開で実装競争を主導
- 概念実証ではなく量産現場での実装、「使われている」ことが日米欧との決定的な差

## 中国ヒューマノイド 主要実稼働事例 (2026年5月時点)

● <b>UBTech Walker S2</b>	@ Zeekr EV工場	→ 自動車組立、24時間運用、受注8億元超
● <b>Galbot S1</b>	@ CATL電池工場	→ 両腕50kg可搬・8時間連続稼働
● <b>UBTech Walker系</b>	@ Foxconn工場	→ 電子機器組立、iPhone部品搬送等
● <b>Agibot A2</b>	@ 物流・サービス現場	→ 倉庫搬送・接客等の汎用タスク
● <b>Unitree H1 / G1</b>	@ 開発・実演	→ 演舞・研究用途、\$13,500への市場席卷
● <b>Leju Robotics</b>	@ 仏山量産ライン	→ 30分/台、年産1万台超のライン稼働

### ① 自動車製造

#### 24時間運用

Zeekr EV工場  
UBTech Walker S2  
受注額8億元超  
EV競争力を強化

### ② 電池製造

#### 50kg可搬

CATL電池工場  
Galbot S1 (両腕)  
8時間連続稼働  
人代替の典型例

### ③ 電子機器組立

#### 精密組立

Foxconn工場  
UBTech Walker系  
iPhone部品搬送  
スマホ・PC波及へ

### ④ 物流・サービス

#### 汎用タスク

倉庫・店舗  
Agibot A2系  
物流搬送・接客  
適用領域は全業種

出典：UBTech公式 / PR Newswire (Walker S2 @ Zeekr) / Galbot公式 (S1 @ CATL)

# 介護・農業展開 —— ヒューマノイドが新領域に拡張

- 中国ヒューマノイドは製造業を超え、介護・農業・医療など新領域への展開が本格化
- UBTech×学研MCS合併「優邸健康科技」が中国介護施設にロボット×AI事業を展開中
- Bufalo Robotics外骨格ロボットは四川華西病院でリハビリ支援、医療現場で実装段階
- 山東省寿光博で50種超の農業ロボット展示、噴霧・授粉・植え付け・収穫まで自動化

## 介護・医療分野

### 日中協業 + 医療応用が先行

- UBTech × 学研MCS 「優邸健康科技」
- 認知症ケア×ロボットAI (上海)
- Bufalo外骨格ロボ@四川華西病院
- 中国初の自律タスク計画推論システム

## 農業・食料分野

### 無人農場の全工程自動化へ

- 寿光博 (山東省) 50種超の農業ロボ展示
- 噴霧・授粉・巡回点検・植付・収穫
- AI栽培判断 + 全天候型圃場制御
- 病害虫識別追跡・自動運転農機

## ① UBTech×学研MCS

### 日中協業

優邸健康科技 (上海)  
2023年6月設立  
認知症ケア×AI×ロボ  
先進的な日中協業事例

## ② Bufalo外骨格

### リハビリ支援

成都Bufalo Robotics  
四川華西病院で稼働  
外骨格ロボット  
医療現場で実装段階

## ③ 寿光農業ロボ

### 50種超

山東省寿光 野菜博  
2026.4 開催  
農作業の全工程対応  
無人農場の将来像

## ④ 国家戦略

### 特許19万件

世界の3分の1を占有  
ロボット+応用行動方案  
工業・農業・医療等10大  
国家戦略として推進中

出典：UBTech/arches-global 2025.11 (Bufalo / 医療応用) / Science Portal China 2026.5 (寿光農業ロボ)

# 5-10年予測 — 2035年260万台、中国シェア30%獲得

- 高工機器人産業研究所（GGII）予測で2035年世界販売500万台・市場規模4,000億元、自動車並み大産業へ
- 中国国内市場は2025年7,300台・24億元から2030年16.25万台・250億元、2035年200万台へ急拡大
- 工信部「人型机器人创新发展指导意见」は2025年量産化、2027年産業体系確立を国家戦略として位置付け
- 中国信通院5レベル分類で現在はLv3「特定シーン構造化」、2030年までにLv4「汎化対応」到達を目標化

## GGII 世界 vs 中国 出荷台数・市場規模予測

	2025年	2030年	2035年
世界	1.24万台 世界 63.39億元	約34万台 世界 約640億元	500万台超 世界 4,000億元超
中国	7,300台 中国 約24億元	16.25万台 中国 約250億元	約200万台 中国シェア40%

## 中国信通院 ヒューマノイド5レベル分類

Lv5 真のエンボディドAI (多様タスク汎化)	将来目標
Lv4 特定シーン非構造化タスク (ある程度汎化)	2030年目標
Lv3 特定シーン構造化タスク (汎化能力は低い)	★ 現在 2026
Lv2 安定的な歩行・走行・跳ぶ動作	2025年到達済
Lv1 基本動作・初級会話能力	過去段階

### ① 工信部「指導意見」

#### 国家戦略

2025年 量産化実現  
2027年 産業体系確立  
総合力で世界先進水準  
国の方針として明示

### ② GGII 世界予測

#### 500万台

2035年 世界販売台数  
市場規模 4,000億元超  
10年で約400倍に  
自動車並みの大産業

### ③ GGII 中国予測

#### 200万台

2035年 中国販売台数  
市場規模 約1,400億元  
世界シェア 約40%  
市場の中核を獲得

### ④ 信通院 進化目標

#### Lv3 → Lv4

2030年までに到達目標  
特定シーン汎化対応  
2035年以降にLv5へ  
真のエンボディドAI

# 日本・日系企業への波及

- 越疆科技は2025年6月、製造業重鎮の名古屋で人形机器人のグローバル量産発表、200社超の日本パートナー集結
- 宇樹科技G1はGMO Internet Group経由でレンタル提供開始、2025年12月東京国際机器人展で存在感を示す
- LimX Dynamics・T-Chef Tech・Jacobi.aiなど多数の中国メーカーが日本進出、TRON社などの代理店経由で展開
- 工信部目標通り中国が量産化を実現、日本企業は「中国製を導入」「独自開発」「日中協業」の選択を迫られる

## 中国ヒューマノイドの日本進出 (2025-2026)

- **越疆科技 (Dobot)**  
2025.6 名古屋でグローバル量産発表、200社集結
- **宇樹科技 G1**  
GMO経由レンタル、東京国際机器人展で6台展示
- **LimX Dynamics**  
TRON株式会社 (名古屋ロボット実験室) が代理

## 日本市場で起きている現象

### 「日本の机器人産業に地殻変動」

(36氪 2025.12.16)

- 2025東京国際机器人展で中国製が存在感
- JETRO×36氪「中日联结Japan Jo!nting」2026.3
- 京都ヒューマノイドロボット協会 (KyoHA) 始動
- 日本2027年量産目標 (中国より2年遅れ)

## ① 日本上陸

### 既に商業展開中

複数モデルが日本進出  
越疆・宇樹・LimX  
T-Chef・UBTech 等  
国内市場の話ではない

## ② 認知拡大

### 展示会 + 導入

東京国際机器人展  
レンタル・サービス導入  
レストラン・社食で稼働  
日本での実装段階へ

## ③ 日中協業の機会

### 既に進行中

学研MCS × UBTech  
TRON × LimX Dynamics  
JETRO × 36氪 連携  
多層的な連携拡大

## ④ 戦略選択

### 4つの選択肢

日本企業の対応戦略  
①導入 ②独自開発  
③日中協業 ④コア特化  
議論を始める時

出典：越疆科技公式 / 证券时报网 (stcn.com) 2025.6.27 (名古屋発表) / 36氪 2025.12.16「中国人形机器人登陆日本」 / 36氪 2025.12.5「日企等要组团量产人形机器人」



# 総括

—— フィジカルAIへの収束



# 総括 —— フィジカルAIとは何か

- AI(脳)・ロボット(身体)・EV(移動)の3領域は別々ではなく、「フィジカルAI」として統合される技術構造
- ChatGPTは「画面の中のAI」、フィジカルAIは「物理世界で動き・考え・行動する」次世代AIの本質形態
- 中国は「人工知能+」「具身智能」「新エネ車」の3国家計画を同期推進、統合的競争力を10年単位で構築
- 2026年は商業化元年、中国国家戦略の核心テーマとして3領域が同一の長期軌道の上に整列する段階

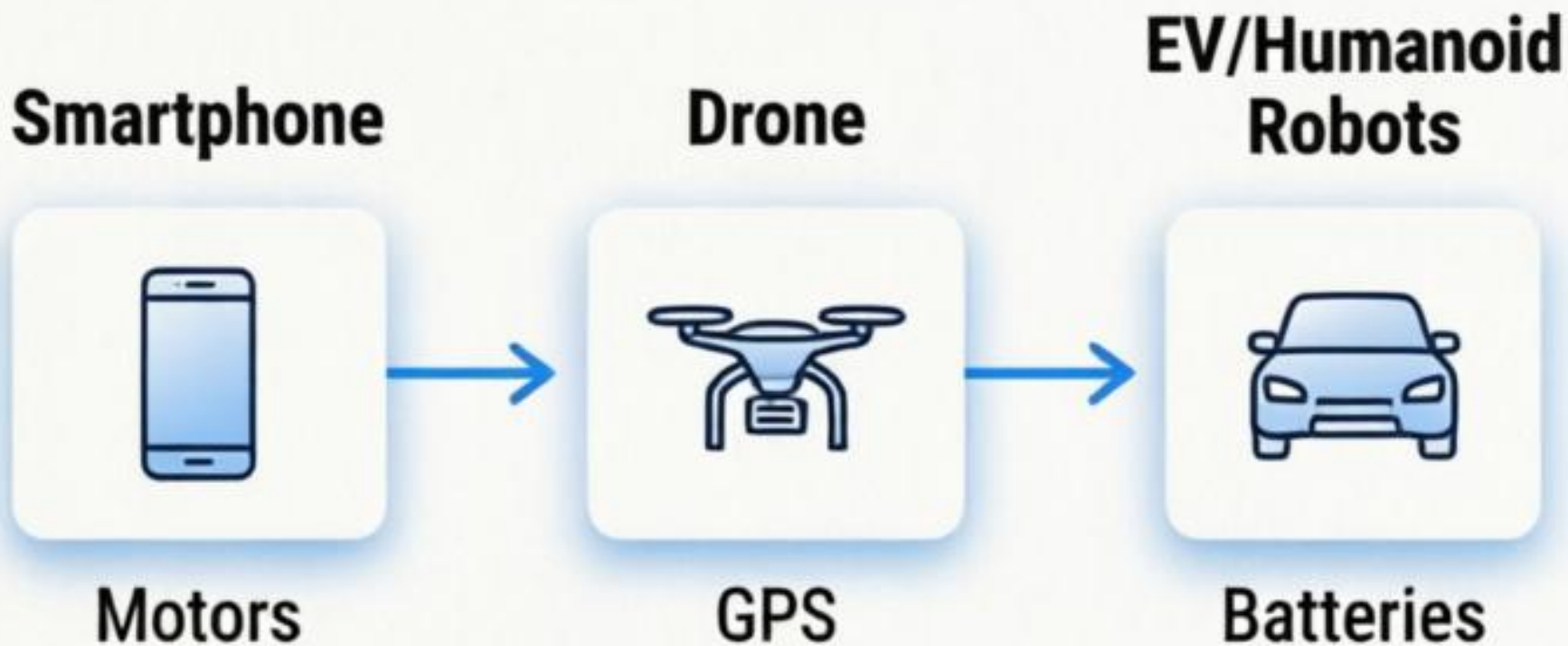


フィジカルAI (Physical AI) —— 物理世界で「動き・考え・行動する」次世代AI

中国「人工知能+」「具身智能」「新エネ車」の3国家計画が同期、2026年は商業化元年

▶ ニュースやデータの背景にある「国家戦略自体」を理解することが中国市場を正しく見抜く鍵

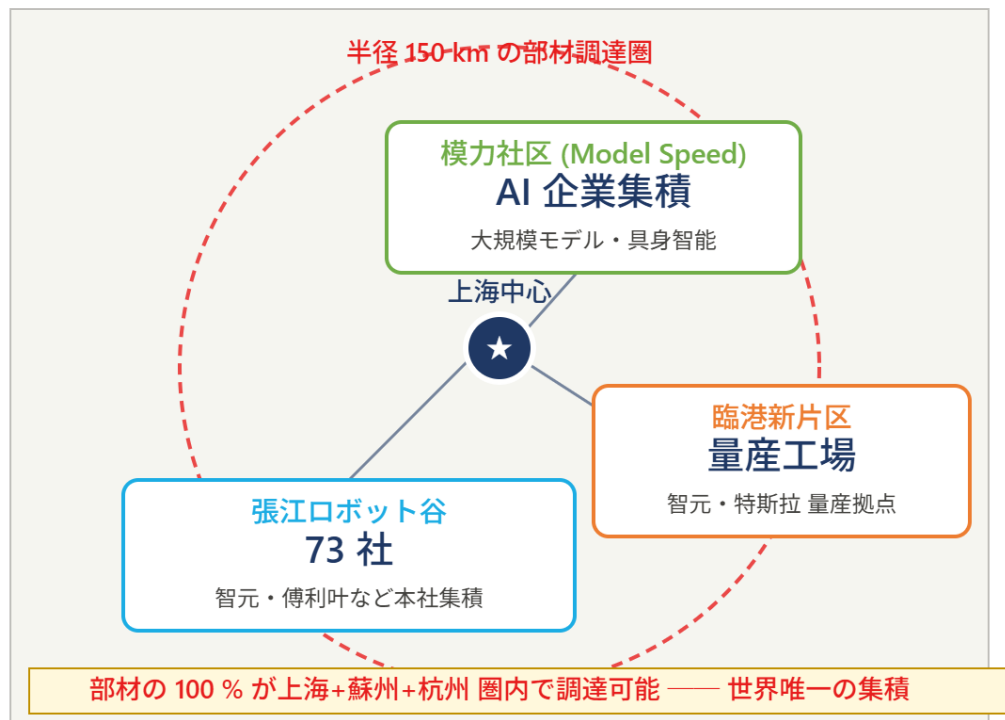
## China's Supply Chain Evolution



# 上海「7小龍」—— 半径150kmで完結する世界唯一の集群

- 上海に「7小龍」と呼ばれるトップ7社が結集 — 智元・傅利叶・优必选・众擎・银河通用・松延・加速進化
- 張江ロボットバレーに73社、模力社区にAI、臨港新片区に量産工場 — 開発・部材・量産が地理的に一体化
- 上海半径150kmの範囲で100%の部材調達が可能、世界に類を見ない垂直統合エコシステム
- 日系化学企業のコ機：減速機潤滑油・センサー材料・電池材料・特殊樹脂 — 現地拠点化が市場アクセスの鍵

## 上海ヒューマノイド3拠点 —— 半径150kmの産業集群



## ■ 上海「7小龍」—— ヒューマノイドトップ7社

① 智元 (AgiBot)

累計 1万台

2026.3 業界初の量産達成  
張江拠点 / 元華為人材

② 傅利叶 (Fourier)

GR-1・GR-2

医療リハビリ用で世界先行  
張江拠点 / シンガポール上場

③ 優必選 (UBTECH)

1,079 台 / 2024

8割が産業現場で稼働中  
本田と 2026.3 提携 ★

④ 衆擎 (Engine AI)

SE01 機種

小型ヒューマノイド先駆  
人型 + 四足ロボの両刀

⑤ 銀河通用 (Galbot)

大規模モデル

具身智能の頭脳開発  
北京大学発スピノフ

⑥ 松延動力 (Songyan)

エンタメ用

春晚 2026 ダンス出演 ★  
「N2」機種で世界話題

⑦ 加速進化 (Booster)

T1 機種

スポーツ・教育用途  
2025 ロボットマラソン優勝

7社の本社所在地

100% が上海圏

張江・徐匯・臨港に集積

# 総括 —— フィジカルAIが2026年中国産業戦略の核心

- フィジカルAI（具身智能）はEV・AI・ヒューマノイドを統合する2026年中国産業戦略の中核、目標へ収斂
- NEV年1,564万台販売、自動運転Lv4が量産化、車載AIで中国が世界をリードする実装段階に到達
- AI基盤モデルはQwen/DeepSeek/GLMが世界級性能、Ascend自主化と産業AI実装で日米欧並みへ進化
- ヒューマノイドは2025年世界出荷78%中国独占、Walker S2/Galbot S1が量産現場で実戦稼働中

## フィジカルAI – EV・AI・ロボットが統合

### フィジカルAI

(具身智能 / Embodied AI)

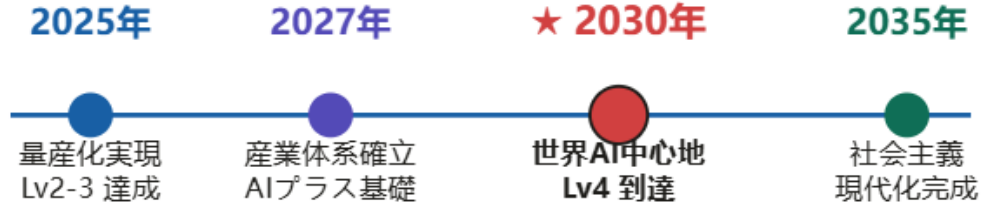
2026年中国産業戦略の核心テーマ

**EV/自動運転**  
**1,564万台**  
NEV年販売・世界60%超

**AI基盤・チップ**  
**日米欧並み**  
Qwen/Ascend 自主化

**ヒューマノイド**  
**世界78%**  
2025年出荷シェア独占

## 中国国家戦略 タイムライン



## ① EV/NEV (第1-3章)

### 世界をリード

NEV 1,564万台  
普及率 61.7%  
自動運転Lv4量産化  
車載AIで世界一

## ② AI (第4章)

### 日米欧並み

Qwen/DeepSeek/GLM  
Ascend自主化 81.2万  
産業AI実装で先行  
価格1/5～1/40 優位

## ③ ロボット (第5章)

### 世界を独占

世界出荷シェア 78%  
2035年 中国200万台  
Walker S2/Galbot稼働  
商業化元年に突入

## ④ 日本企業の戦略

### 統合視点で

5-10年スパンで判断  
①導入 ②独自  
③日中協業 ④コア特化  
国家システム視点で対応

Shanghai Huazhong Investment Consulting Co., Ltd



# 「査定」で見直す 中国現地法人の外注コスト

## ⚠️ こんな課題、見過ごしていませんか？

- 駐在員が定期的に交代し適正価格の見直しができている  
契約金額が市場価格と乖離していても気づきにくい
- 外注先との不正取引発生リスク  
過大な契約金額が長年放置されるケースも
- そもそも「適正な相場」が分からない業務領域がある  
担当者は外注先の「言い値」で判断するしかない

## ✔️ 保険「査定」のプロが、外注金額を再評価

### ※保険「査定」とは？

保険金は多数の契約者の保険料が原資。支払時は契約額ではなく「市場価格・時価」を客観的に算定する実務——これが「査定」です。

保険業界で培った市場価格算定ノウハウを、中国現地法人の外注金額見直しに応用。

交渉代行・優良外注先のご紹介まで一貫支援。

## ⚠️ 適正価格でないケースが多い 要注意の外注業務



消火設備点検費用



廃棄物取引契約



安全生産報告



工場機器の定期点検

ご利用の流れ

① 無料査定

② 課題分析・最適化案

③ 適正価格お見積り

④ 交渉・契約サポート

元・保険会社の「査定」専門家が、御社の外注契約金額を市場価格に照らして再評価します。お気軽にご相談ください。

WeChat・メール  
どちらでも ✓



shoichi.kobayashi@shcs.com.cn



外注コスト削減実績 平均

— 20%

# 華鐘新領域



# 中国ビジネスの 「困った」を 一気に解決。

財務・税務・ERPシステム、  
すべてワンストップでお任せください。

まずは無料相談 →



shoichi.kobayashi@shcs.com.cn



## 選ばれる3つの理由

01

### ワンストップ財務コンサル 会計上の問題を一気に解決

日中両国の会計を熟知した  
専門家が記帳から税務まで対応

02

### 用友システム全国版代理店 日系唯一 10年以上の経験

中国ERP最大手を全国どこでも  
導入・開発サポート

03

### WeChat即時回答 現場の方の業務効率UP

問題をWeChatグループでお問合せ  
会計・ITの問題を一気に解決



# 弊社 華鐘コンサルタントグループについて



## 信頼企業の証である資格類

「上海市專業サービス貿易重点単位」  
(コンサル類)  
「渉外調査許可証(甲種)」※  
「信用コンサルタント会社証」  
「ISO9001、ISO14001認証」など

※外国企業からの依頼に対し  
全国全産業の調査を行える資格  
を外資で最初に取得しました

## 豊富な経験値と実績数

会員登録頂いたのべ企業数 2000社以上  
ご質問にお答えした総数 35,000件以上  
様々なプロジェクト実施数 20000件以上  
政府開発区などとの提携数 150以上



## 高い能力を持つスタッフ

- 公認会計士など関連資格保有者 20名
- 日本簿記資格保有者 4名
- 日本語1級 25名
- 税理士資格保有者 2名
- 上海市登録コンサルタント 15名 他※

## 歴史ある総合コンサル会社

市場調査・企業調査・DD・商標登録  
個人のビザ取得、会社設立・移転・清算、  
工場用地取得・環境コンサル・認可取得  
会計・税務・財務・個人所得税管理  
労務管理・人員再編・法務、IT関連

※弊社へ会員登録頂いたお客様のみ  
にサービスを提供しております。  
ご入会後は回数無制限のQ&Aや  
毎日発行のメルマガなど、弊社の  
基本サービスをご利用頂けます。

※イギリス特許管理会計士  
弁護士資格博士・博士課程修了者  
評価に関わるエンジニア資格など  
資格保有者の人数はのべ150人以上  
にのぼります。

# 企業微信(WeCom)使用開始のお知らせ

お客様への情報提供をより便利にするため

企業微信(WeCom )を使用いたします。

- 中国ビジネス・中国生活グループチャットでの関連情報発信
- 会員企業の方と弊社担当者の個別連絡

## ① 華鐘企業アカウント

過去にグループチャットで配信した各種情報を、ジャンルごとにご覧いただけるようになります（記事は順次アップロードします）

## ② グループチャット[群聊]

- ・ 既存の [微信グループ] を [企業微信グループ] に移行
- ・ 人数にかかわらず、右のQRコードスキャンで加入可



ご不明点等については、弊社担当者か、メールで [shcs@shcs.com.cn](mailto:shcs@shcs.com.cn) までお問合せください。

# 弊社 華鐘コンサルタントグループについて

## ■ 上海本社

住所 〒200041 上海市静安区石门一路288号 興業太古汇1棟 20F 2080-81室

電話番号 +86-(0)21-5117-5888 : 担当者 張曉玲 (会員部主任)

Emailアドレス shcs@shcs.com.cn

Homepageアドレス <http://www.shcs.com.cn>

## ・ 広州分公司

住所 〒510620 広州市林和西路9号耀中広場B座1209室

電話番号 +86-(0)20-3801-1800 : 担当者 許進 (主任、日本語可)

FAX番号 +86-(0)20-3801-1810 Emailアドレス xujin@shcs.com.cn

## ・ 蘇州分公司

住所 〒215028 蘇州工業園区旺墩路188号建屋大厦1203室

電話番号 +86-(0)512-6809-4510 : 担当者 李金姫 (主任、日本語可)

Emailアドレス lijijin@shcs.com.cn

## ・ 大阪 株式会社華鐘コンサルティング

住所 〒541-0045 大阪府中央区道修町二丁目2番11号ベルロード道修町ビル4階

電話番号 +81-(0)6-6232-0775 : 担当者 陳庚 (コンサルティング部部長、日本語可)

FAX番号 +81-(0)6-6232-0776 Emailアドレス osaka.jhcs@shcs.co.jp

## ・ 東京 株式会社華鐘コンサルティング東京事務所 (連絡事務所)

住所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-9 新宿ワシントンホテルビル本館2F THE HUB

電話番号 +81-(0)70-1464-5888 : 担当者 高倉洋一 (所長兼コンサルティング部長)

Emailアドレス takakura@shcs.co.jp